

被ばく低減対策好事例集

場所		分類		番号	01-07
原子炉建屋内 (RB)	RB	7	1 時間		
タービン建屋内 (TB)			2 距離		
R ZONE (R)			3 遮へい		
Y ZONE (Y)			4 線源の除去		
G ZONE (G)			5 遠隔、ロボット化		
その他 ()			6 汚染拡大防止		
			7 その他		

内容	2号機原子炉建屋1FL X-6前に機器を搬入するための干渉物撤去			
作業部位	2号機原子炉建屋1FL			
概略	2号機原子炉建屋1FL X-6に機器を搬入するにあたり、干渉機器の撤去を実施した。			
評価 (定性)・定量	効果		対策前	対策後
		被ばく線量(mSv)	--	--
		人工数(人日)	--	--

事例詳細

対策前 作業エリアとなる2号機原子炉建屋1FLはα線放出核種で汚染しているため、内部被ばくを完全に防止する必要があった。

対策内容 防護装備の着脱および汚染体感訓練を事前に行い、防護装備脱衣時の身体汚染・内部取り込みの防止に努めた。

机上教育の実施

・アルファ線とは？

アルファ線の透過力は非常に弱いため、ガラス板や紙一枚で遮断して防護に最も容易で済みます。また、短射程（数センチ1cm）で透過されてしまえば、透過したとしても、人体の体外に留まるため体内に侵入せず、放射線による影響も、内部被ばくで身体内に侵入するより5000分の1程度と見なされます。そのため、放射線防護の観点から、放射線から人体に侵入するのを防ぐことが最も重要になります。放射線から人体に侵入するのを防ぐには、放射線から人体に侵入するのを防ぐことが最も重要になります。

・外部被ばくと内部被ばく

汚染体感訓練(被ばく)は、他人に対して他社の大きなものになる。

東京パワーテクノロジー株式会社
放射線管理グループ

汚染体感訓練の実施

